

GOSAT-1/2 レベル1 プロダクト読み出しツール
取扱説明書(パラメータファイル編)

2019年8月

宇宙航空研究開発機構

改訂履歴

版数	日付	改訂頁	改訂内容
初版	2019/8	—	

目次

1.	はじめに	1
2.	パラメータファイル一覧.....	1
2. 1	本節で記載するフォーマットの見方.....	3
2. 2	CAI-1	4
2. 2. 1	YYYY_MM_dark.csv.....	4
2. 2. 2	msec_090408.csv.....	5
2. 2. 3	response_20100803a.csv.....	6
2. 3	CAI-2	7
2. 3. 1	CAI2_Image_Parameter.csv.....	7
2. 3. 2	CAI2_Night_Observation.csv.....	9
2. 3. 3	CAI2_Night_ObservationCondition.csv.....	10
2. 3. 4	CAI2_Coefficient_A.csv.....	11
2. 3. 5	CAI2_Coefficient_B.csv.....	12
2. 3. 6	CAI2_Coefficient_C.csv.....	13
2. 3. 7	CAI2_Coefficient_D.csv.....	14
2. 3. 8	CAI2_Coefficient_E.csv.....	15
2. 3. 9	CAI2_Coefficient_F.csv.....	16
2. 3. 10	CAI2_Brightness_conversion.csv.....	17
2. 3. 11	CAI2_Sensor_Alignment.csv.....	18
2. 3. 12	CAI2_VectorParameter.csv.....	19
2. 3. 13	CAI2_Pixel_Parameter.csv.....	20
2. 3. 14	CAI2_Band_registration_CT.csv.....	21
2. 3. 15	CAI2_Band_registration_AT.csv.....	22
2. 3. 16	CAI2_Band_registration_CT_B1.csv.....	25
2. 3. 17	CAI2_Band_registration_AT_B1.csv.....	26
2. 3. 18	CAI2_Band_registration_CT_B6.csv.....	27
2. 3. 19	CAI2_Band_registration_AT_B6.csv.....	28
2. 3. 20	CAI2_Saturation_correction.csv.....	29
2. 3. 21	CAI2_Stray_light_correction_B1.txt.....	30
2. 3. 22	CAI2_Stray_light_correction_B6.txt.....	34
2. 3. 23	CAI2_Stray_light_correction_A_B1.csv.....	38
2. 3. 24	CAI2_Stray_light_correction_A_B6.csv.....	39

2. 3. 25	CAI2_Ch_crosstalk_correction_B5.csv.....	40
2. 3. 26	CAI2_Ch_crosstalk_correction_B10.csv.....	44
2. 3. 27	CAI2_Stray_light_correction_B5.txt.....	46
2. 3. 28	CAI2_Stray_light_correction_B10.txt.....	48
2. 3. 29	CAI2_Stray_light_correction_A_B5.csv.....	50
2. 3. 30	CAI2_Stray_light_correction_A_B10.csv.....	51
2. 3. 31	CAI2_ImageProcessSetting.txt.....	52
2. 3. 32	PSF ファイル(.tif)	54

1. はじめに

この文書は、GOSAT レベル 1 プロダクト読み出しツールキット（以下 GTK）の取扱説明書です。GTK は、GOSAT-1/GOSAT-2 のレベル 1 プロダクトを読み込むプログラムライブラリです。GTK は C、FORTRAN、IDL、MATLAB をサポートしています。本書では、C 言語版の利用方法について示します。本書では、GTK で使用するパラメータファイルについて示します。

2. パラメータファイル一覧

GTK が利用するパラメータファイル一覧を 2-1 示します。

表 2-1 パラメータファイル一覧 (1/2)

No.	センサ	ファイル名	説明
1.	CAI-1	YYYY_MM_dark.csv	夜間校正データ (YYYY、MM は、観測年・月)
2.	CAI-1	msec_090408.csv	積分時間テーブル
3.	CAI-1	response_20100803a.csv	輝度変換係数
4.	CAI-2	CAI2_Image_Parameter.csv	画素数、暗時画素位置
5.	CAI-2	CAI2_Night_Observation.csv	ラジオメトリック補正における夜間観測データ平均値 X_{dk2}
6.	CAI-2	CAI2_Night_ObservationCondition.csv	X_{dk2} を取得した際の各部温度、積分時間
7.	CAI-2	CAI2_Coefficient_A.csv	ラジオメトリック補正におけるプリアンプ温度による多項式係数 a
8.	CAI-2	CAI2_Coefficient_B.csv	ラジオメトリック補正におけるアンプ温度による多項式係数 b
9.	CAI-2	CAI2_Coefficient_C.csv	ラジオメトリック補正における画素温度による多項式係数 c
10.	CAI-2	CAI2_Coefficient_D.csv	ラジオメトリック補正における露光時間による多項式係数 d
11.	CAI-2	CAI2_Coefficient_E.csv	ラジオメトリック補正における露光時間による多項式係数 e
12.	CAI-2	CAI2_Coefficient_F.csv	ラジオメトリック補正における画素温度による多項式係数 f
13.	CAI-2	CAI2_Brightness_conversion.csv	ラジオメトリック補正における輝度変換係数 R
14.	CAI-2	CAI2_Sensor_Alignment.csv	CAI-2 座標系間-衛星座標系のアライメント行列
15.	CAI-2	CAI2_VectorParameter.csv	視線ベクトル x, y, z の多項式係数 g
16.	CAI-2	CAI2_Pixel_Parameter.csv	視線ベクトルを計算する基準画素番号 P_c 、画素ピッチ P_{det}
17.	CAI-2	CAI2_Band_registration_CT.csv	CT 方向バンド間レジストレーションテーブル(基準バンド用)

表 2-1 パラメータファイル一覧 (2/2)

No.	センサ	ファイル名	説明
18	CAI-2	CAI2_Band_registration_AT.csv	AT 方向バンド間レジストレーションテーブル(基準バンド用)
19	CAI-2	CAI2_Band_registration_CT_B1.csv	CT 方向バンド間レジストレーションテーブル(バンド 1 帯域外迷光補正用)
20	CAI-2	CAI2_Band_registration_AT_B1.csv	AT 方向バンド間レジストレーションテーブル(バンド 1 帯域外迷光補正用)
21	CAI-2	CAI2_Band_registration_CT_B6.csv	CT 方向バンド間レジストレーションテーブル(バンド 6 帯域外迷光補正用)
22	CAI-2	CAI2_Band_registration_AT_B6.csv	AT 方向バンド間レジストレーションテーブル(バンド 6 帯域外迷光補正用)
23	CAI-2	CAI2_Saturation_correction.csv	飽和補正用パラメータ
24	CAI-2	CAI2_Stray_light_correction_B1.txt	バンド 1 用迷光補正パラメータ
25	CAI-2	CAI2_Stray_light_correction_B6.txt	バンド 6 用迷光補正パラメータ
26	CAI-2	CAI2_Stray_light_correction_A_B1.csv	バンド 1 用帯域内迷光補正 係数 A_1
27	CAI-2	CAI2_Stray_light_correction_A_B6.csv	バンド 6 用帯域内迷光補正 係数 A_6
28	CAI-2	CAI2_Ch_crosstalk_correction_B5.csv	バンド 5 用 CH 間クロストーク補正係数
29	CAI-2	CAI2_Ch_crosstalk_correction_B10.csv	バンド 10 用 CH 間クロストーク補正係数
30	CAI-2	CAI2_Stray_light_correction_B5.txt	バンド 5 用迷光補正用パラメータ
31	CAI-2	CAI2_Stray_light_correction_B10.txt	バンド 10 用迷光補正用パラメータ
32	CAI-2	CAI2_Stray_light_correction_A_B5.csv	バンド 5 用帯域内迷光補正 係数 A_5
33	CAI-2	CAI2_Stray_light_correction_A_B10.csv	バンド 10 用帯域内迷光補正 係数 A_{10}
34	CAI-2	CAI2_ImageProcessSetting.txt	画像処理設定 On/Off
35	CAI-2	CAI2_B1_STRAY_PSF_H1.tif	バンド 1 用迷光 PSF $H_{1,1}$
36	CAI-2	CAI2_B1_STRAY_PSF_H2.tif	バンド 1 用迷光 PSF $H_{1,2}$
37	CAI-2	CAI2_B1_STRAY_PSF_H3.tif	バンド 1 用迷光 PSF $H_{1,3}$
38	CAI-2	CAI2_B1_STRAY_PSF_H4.tif	バンド 1 用迷光 PSF $H_{1,4}$
39	CAI-2	CAI2_B1_STRAY_PSF_H5.tif	バンド 1 用迷光 PSF $H_{1,5}$
40	CAI-2	CAI2_B1_OUTBAND_PSF_H2.tif	バンド 1 用帯域外補正 PSF $H_{1,2}$
41	CAI-2	CAI2_B1_OUTBAND_PSF_H3.tif	バンド 1 用帯域外補正 PSF $H_{1,3}$
42	CAI-2	CAI2_B1_OUTBAND_PSF_H4.tif	バンド 1 用帯域外補正 PSF $H_{1,4}$
43	CAI-2	CAI2_B6_STRAY_PSF_H1.tif	バンド 6 用迷光 PSF $H_{6,1}$
44	CAI-2	CAI2_B6_STRAY_PSF_H2.tif	バンド 6 用迷光 PSF $H_{6,2}$
45	CAI-2	CAI2_B6_STRAY_PSF_H3.tif	バンド 6 用迷光 PSF $H_{6,3}$
46	CAI-2	CAI2_B6_STRAY_PSF_H4.tif	バンド 6 用迷光 PSF $H_{6,4}$

表 2-1 パラメータファイル一覧 (2/2)

No.	センサ	ファイル名	説明
47	CAI-2	CAI2_B6_STRAY_PSF_H5.tif	バンド 6 用迷光 PSF $H_{6,5}$
48	CAI-2	CAI2_B6_OUTBAND_PSF_H7.tif	バンド 6 用帯域外補正 PSF $H_{6,7}$
49	CAI-2	CAI2_B6_OUTBAND_PSF_H8.tif	バンド 6 用帯域外補正 PSF $H_{6,8}$
50	CAI-2	CAI2_B6_OUTBAND_PSF_H9.tif	バンド 6 用帯域外補正 PSF $H_{6,9}$
51	CAI-2	CAI2_B1B6_CROSSTALK_PSF_H6.tif	バンド 1 用バンド 6 クロストーク PSF H_6
52	CAI-2	CAI2_B1B6_CROSSTALK_PSF_H1.tif	バンド 6 用バンド 1 クロストーク PSF H_1
53	CAI-2	CAI2_B5_STRAY_PSF_H1.tif	バンド 5 用迷光 PSF $H_{5,1}$
54	CAI-2	CAI2_B5_STRAY_PSF_H2.tif	バンド 5 用迷光 PSF $H_{5,2}$
55	CAI-2	CAI2_B5_STRAY_PSF_H3.tif	バンド 5 用迷光 PSF $H_{5,3}$
56	CAI-2	CAI2_B5_STRAY_PSF_H4.tif	バンド 5 用迷光 PSF $H_{5,4}$
57	CAI-2	CAI2_B5_STRAY_PSF_H5.tif	バンド 5 用迷光 PSF $H_{5,5}$
58	CAI-2	CAI2_B10_STRAY_PSF_H1.tif	バンド 10 用迷光 PSF $H_{10,1}$
59	CAI-2	CAI2_B10_STRAY_PSF_H2.tif	バンド 10 用迷光 PSF $H_{10,2}$
60	CAI-2	CAI2_B10_STRAY_PSF_H3.tif	バンド 10 用迷光 PSF $H_{10,3}$
61	CAI-2	CAI2_B10_STRAY_PSF_H4.tif	バンド 10 用迷光 PSF $H_{10,4}$
62	CAI-2	CAI2_B10_STRAY_PSF_H5.tif	バンド 10 用迷光 PSF $H_{10,5}$

*FTS-1/FTS2 にはパラメータファイルはありません。

2. 1 本節で記載するフォーマットの見方

・「型」が「実数」のデータは、浮動小数点形式の文字列です。

有効数字は、断りの無い限り 10 進数で 15 桁です。

例: -1.2345e-4, 1234567890.12345

・「型」が「整数」のデータは、符号有り整数形式の文字列です。

有効範囲は、断りの無い限り -2,147,483,648 ~ 2,147,483,647 です。

2. 2 CAI-1

2. 2. 1 YYYY_MM_dark.csv

YYYY_MM_dark.csv は、夜間校正データを格納したファイルです。ファイル名の YYYY、MM は、観測年・月を示します。観測データに合わせて対象ファイルを JAXA のサイトからダウンロードし、パラメータフォルダに格納してください。

表 2. 2-1 にファイルフォーマットを示します。

形式 : CSV 形式 1 行目はカラムヘッダ
文字コード : UTF-8
改行コード : CR+LF

表 2. 2-1 YYYY_MM_dark.csv

No	カラム名	説明	型/範囲	単位	備考
1	pixel	画素番号 n	整数, 0~2056	画素番号	0 オリジン
2	band1	画素番号 n 、バンド 1 の夜間校正データ	実数	—	
3	band2	画素番号 n 、バンド 2 の夜間校正データ	実数	—	
4	band3	画素番号 n 、バンド 3 の夜間校正データ	実数	—	
5	band4	画素番号 n 、バンド 4 の夜間校正データ	実数	—	

夜間校正データのダウンロードサイト: http://www.eorc.jaxa.jp/GOSAT/calibration_1_1_j.html

2. 2. 2 msec_090408.csv

msec_090408.csv は、積分時間テーブルを格納したファイルです。表 2. 2-2 にファイルフォーマットを示します。

形式 : CSV 形式 1 行目はカラムヘッダ
文字コード : UTF-8
改行コード : CR+LF

表 2. 2-2 msec_09408.csv

No	カラム名	説明	型/範囲	単位	備考
1	なし	積算段数	整数, 1~32	-	
2	band1	バンド 1 の積分時間	実数	ms	
3	band2	バンド 2 の積分時間	実数	ms	
4	band3	バンド 3 の積分時間	実数	ms	
5	band4	バンド 4 の積分時間	実数	ms	

2. 2. 3 response_20100803a.csv

response_20100803a.csv は、輝度変換係数を定義したファイルです。表 2. 2-3 にファイルフォーマットを示します。

形式 : CSV 形式 1 行目はカラムヘッダ
 文字コード : UTF-8
 改行コード : CR+LF

表 2. 2-3 response_2010803a.csv

No	カラム名	説明	型/範囲	単位	備考
1	なし	画素番号 n	整数, 1~2056	画素番号	1 オリジン
2	band1	画素番号 n 、バンド 1 の輝度変換係数	実数	—	
3	band2	画素番号 n 、バンド 2 の輝度変換係数	実数	—	
4	band3	画素番号 n 、バンド 3 の輝度変換係数	実数	—	
5	band4	画素番号 n 、バンド 4 の輝度変換係数	実数	—	

2. 3 CAI-2

2. 3. 1 CAI2_Image_Parameter.csv

CAI2_Image_Parameter.csv は、画素数、暗時画素位置を定義したファイルです。表 2. 3-1 にファイルフォーマットを示します。

形式 : CSV 形式 1 行目はカラムヘッダ
 文字コード : UTF-8
 改行コード : CR+LF

表 2. 3-1 CAI2_Image_Parameter.csv (1/2)

No	カラム名	説明	型/範囲	単位	備考
1	BandNumber	バンド番号 m	整数, 1~10	バンド番号	
2	PixelNumber	バンド番号 m の 1 ライン中の画素数	整数, バンド 1~4、6~9 : 2056 バンド 5、10 : 1024	—	
3	StartDarkPixelNo	バンド番号 m の暗時画素開始番号	整数, バンド 1~4、6~9 : 1~2056 バンド 5、10 : 1~1024	画素番号	1 オリジン
4	EndDarkPixelNo	バンド番号 m の暗時画素終了番号			
5	StartValidPixelNo	バンド番号 m の有効画素開始番号			
6	EndValidPixelNo	バンド番号 m の有効画素終了番号			
7	Xdk1Pixel1~ Xdk1Pixel8	バンド番号 m の暗時画素の平均値 X_{dk1_ODD} 、 X_{dk1_EVEN} (Band1~4、6~9)、 X_{dk1} (Band5, 10) を算出する画素番号	整数, バンド 1~4、6~9: 1~2056 バンド 5、10: 1~1024	画素番号	バンド 1~4、6~9:画素番号は最大 8 個まで格納される。使用しないカラムの値は 0 とする。 例: 1, 2, 3, 0, 5, 6, 7, 0 バンド 5、10:画素番号は最大 6 個まで格納される。使用しないカラムの値は 0 とする。 例: 1, 0, 0, 4, 5, 6, 0, 0

表 2. 3-1 CAI2_Image_Parameter.csv (2/2)

No	カラム名	説明	型/範囲	単位	備考
8	Xdk1Pw	バンド番号 m の暗時画素の平均値 X_{dk1_ODD} 、 X_{dk1_EVEN} 、 X_{dk1} を算出する 近傍ラインのライン数 pw	整数	ライン数	
9	Xdk3Pixel1～ Xdk3Pixel8	バンド番号 m の暗時画素の平均値 X_{dk3_ODD} 、 X_{dk3_EVEN} 、 X_{dk3} を算出する 画素番号	整数, バンド 1～4、6～9: 1～2056 バンド 5、10: 1～1024	画素番号	バンド 1～4、6～9:画素番号は最大 8 個まで格納される。使用しないカラム の値は 0 とする。 例: 1, 2, 3, 0, 5, 6, 7, 0 バンド 5、10:画素番号は最大 6 個ま で格納される。使用しないカラムの 値は 0 とする。 例: 1, 0, 0, 4, 5, 6, 0, 0

2. 3. 2 CAI2_Night_Observation.csv

CAI2_Night_Observation.csv は、ラジオメトリック補正における夜間観測データ平均値 X_{dk2} を格納したファイルです。表 2. 3-2 にファイルフォーマットを示します。

形式 : CSV 形式 1 行目はカラムヘッダ
 文字コード : UTF-8
 改行コード : CR+LF

表 2. 3-2 CAI2_NightObservation.csv

No	カラム名	説明	型/範囲	単位	備考	
1	PixelNo	画素番号 n	整数, 1~2056	画素番号		
2	Band1	バンド番号 1、画素番号 n の夜間観測平均値 $X_{dk2}(1, n)$	整数, 0~4095 (無効値: -999)	デジタル値 (12bit 観測データ)		
3	Band2	バンド番号 2、画素番号 n の夜間観測平均値 $X_{dk2}(2, n)$				
4	Band3	バンド番号 3、画素番号 n の夜間観測平均値 $X_{dk2}(3, n)$				
5	Band4	バンド番号 4、画素番号 n の夜間観測平均値 $X_{dk2}(4, n)$				
6	Band5	バンド番号 5、画素番号 n の夜間観測平均値素 $X_{dk2}(5, n)$				暗時画素または有効範囲外の画素番号には、無効値(-999)が設定される。
7	Band6	バンド番号 6、画素番号 n の夜間観測平均値 $X_{dk2}(6, n)$				
8	Band7	バンド番号 7、画素番号 n の夜間観測平均値 $X_{dk2}(7, n)$				
9	Band8	バンド番号 8、画素番号 n の夜間観測平均値 $X_{dk2}(8, n)$				
10	Band9	バンド番号 9、画素番号 n の夜間観測平均値 $X_{dk2}(9, n)$				
11	Band10	バンド番号 10、画素番号 n の夜間観測平均値 $X_{dk2}(10, n)$				暗時画素または有効範囲外の画素番号には、無効値(-999)が設定される。

2. 3. 3 CAI2_Night_ObservationCondition.csv

CAI2_Night_ObservationCondition.csvは、ラジオメトリック補正における夜間観測データ平均値 X_{dk2} を取得した際の各部温度、積分時間を記録したファイルです。表 2. 3-3 にファイルフォーマットを示します。

形式 : CSV形式 1行目はカラムヘッダ
 文字コード : UTF-8
 改行コード : CR+LF

表 2. 3-3 CAI2_NightObservationCondition.csv

No	カラム名	説明	型/範囲	単位	備考
1	BandNumber	バンド番号 m	整数, 1~10	バンド番号	
2	PreAmpTemp	X_{dk2} を取得した際のバンド番号 m のプリアンプ温度 $T'_1(m)$	実数	°C	
3	AmpTemp	X_{dk2} を取得した際のバンド番号 m のアンプ温度 $T'_2(m)$	実数	°C	
4	SensorTemp	X_{dk2} を取得した際のバンド番号 m の画素温度 $T'_3(m)$	実数	°C	
5	tInt	X_{dk2} を取得した際のバンド番号 m の積分時間 $t'_{int}(m)$	実数	ms	

2. 3. 4 CAI2_Coefficient_A.csv

CAI2_Coefficient_A.csv は、ラジオメトリック補正におけるプリアンプ温度による多項式係数 a を格納したファイルです。表 2. 3-4 にファイルフォーマットを示します。

形式 : CSV 形式 1 行目はカラムヘッダ
 文字コード : UTF-8
 改行コード : CR+LF

表 2. 3-4 CAI2_Coefficient_A.csv

No	カラム名	説明	型/範囲	単位	備考
1	BandNumber	バンド番号 m	整数, 1~10	バンド番号	
2	a0	バンド番号 m のプリアンプ温度による補正係数の 0 次項 $a(m,0)$	実数	°C	
3	a1	バンド番号 m のプリアンプ温度による補正係数の 1 次項 $a(m,1)$	実数	°C ⁻¹	
4	a2	バンド番号 m のプリアンプ温度による補正係数の 2 次項 $a(m,2)$	実数	°C ⁻²	
5	a3	バンド番号 m のプリアンプ温度による補正係数の 3 次項 $a(m,3)$	実数	°C ⁻³	

2. 3. 5 CAI2_Coefficient_B.csv

CAI2_Coefficient_B.csv は、ラジオメトリック補正におけるアンプ温度による多項式係数 b を格納したファイルです。表 2. 3-5 にファイルフォーマットを示します。

形式 : CSV 形式 1 行目はカラムヘッダ
 文字コード : UTF-8
 改行コード : CR+LF

表 2. 3-5 CAI2_Coefficient_B.csv

No	カラム名	説明	型/範囲	単位	備考
1	BandNumber	バンド番号 m	整数, 1~10	バンド番号	
2	b0	バンド番号 m のアンプ温度による補正係数の 0 次項 $b(m,0)$	実数	°C	
3	b1	バンド番号 m のアンプ温度による補正係数の 1 次項 $b(m,1)$	実数	°C ⁻¹	
4	b2	バンド番号 m のアンプ温度による補正係数の 2 次項 $b(m,2)$	実数	°C ⁻²	
5	b3	バンド番号 m のアンプ温度による補正係数の 3 次項 $b(m,3)$	実数	°C ⁻³	

2. 3. 6 CAI2_Coefficient_C.csv

CAI2_Coefficient_C.csv は、ラジオメトリック補正における画素温度による多項式係数 c を格納したファイルです。表 2. 3-6 にファイルフォーマットを示します。

形式 : CSV 形式 1 行目はカラムヘッダ
 文字コード : UTF-8
 改行コード : CR+LF

表 2. 3-6 CAI2_Coefficient_C.csv

No	カラム名	説明	型/範囲	単位	備考
1	BandNumber	バンド番号 m	整数, 1~10	バンド番号	
2	PixelNumver	画素番号 n	バンド 1~4、6~9: 1~2056 バンド 5、10: 1~1024	画素番号	1 オリジン
3	c0	バンド番号 m 、画素 n の画素温度による補正係数の 0 次項 $c(m,n,0)$	実数	°C	
4	c1	バンド番号 m 、画素 n の画素温度による補正係数の 1 次項 $c(m,n,1)$	実数	°C ⁻¹	
5	c2	バンド番号 m 、画素 n の画素温度による補正係数の 2 次項 $c(m,n,2)$	実数	°C ⁻²	
6	c3	バンド番号 m 、画素 n の画素温度による補正係数の 3 次項 $c(m,n,3)$	実数	°C ⁻³	

2. 3. 7 CAI2_Coefficient_D.csv

CAI2_Coefficient_D.csv は、ラジオメトリック補正における露光時間による多項式係数 d を格納したファイルです。表 2. 3-7 にファイルフォーマットを示します。

形式 : CSV 形式 1 行目はカラムヘッダ
 文字コード : UTF-8
 改行コード : CR+LF

表 2. 3-7 CAI2_Coefficient_D.csv

No	カラム名	説明	型/範囲	単位	備考
1	BandNumber	バンド番号 m	整数, 1~10	バンド番号	
2	d0	バンド番号 m の露光時間による補正係数の 0 次項 $d(m,0)$	実数	—	
3	d1	バンド番号 m の露光時間による補正係数の 1 次項 $d(m,1)$	実数	—	
4	d2	バンド番号 m の露光時間による補正係数の 2 次項 $d(m,2)$	実数	—	
5	d3	バンド番号 m の露光時間による補正係数の 3 次項 $d(m,3)$	実数	—	

2. 3. 8 CAI2_Coefficient_E.csv

CAI2_Coefficient_E.csv は、ラジオメトリック補正における露光時間による多項式係数 e を格納したファイルです。表 2. 3-8 にファイルフォーマットを示します。

形式 : CSV 形式 1 行目はカラムヘッダ
 文字コード : UTF-8
 改行コード : CR+LF

表 2. 3-8 CAI2_Coefficient_E.csv

No	カラム名	説明	型/範囲	単位	備考
1	BandNumber	バンド番号	整数, 1~10	バンド番号	
2	e0	バンド番号 m の露光時間による補正係数の 0 次項 $e(m,0)$	実数	msec	
3	e1	バンド番号 m の露光時間による補正係数の 1 次項 $e(m,1)$	実数	msec ⁻¹	
4	e2	バンド番号 m の露光時間による補正係数の 2 次項 $e(m,2)$	実数	msec ⁻²	
5	e3	バンド番号 m の露光時間による補正係数の 3 次項 $e(m,3)$	実数	msec ⁻³	

2. 3. 9 CAI2_Coefficient_F.csv

CAI2_Coefficient_F.csv は、ラジオメトリック補正における画素温度による多項式係数 f を格納したファイルです。表 2. 3-9 にファイルフォーマットを示します。

形式 : CSV 形式 1 行目はカラムヘッダ
 文字コード : UTF-8
 改行コード : CR+LF

表 2. 3-9 CAI2_Coefficient_F.csv

No	カラム名	説明	型/範囲	単位	備考
1	BandNumber	バンド番号 m	整数, 1~10	バンド番号	
2	f0	バンド番号 m の画素温度による補正係数の 0 次項 $f(m,0)$	実数	°C	
3	f1	バンド番号 m の画素温度による補正係数の 1 次項 $f(m,1)$	実数	°C ⁻¹	
4	f2	バンド番号 m の画素温度による補正係数の 2 次項 $f(m,2)$	実数	°C ⁻²	
5	f3	バンド番号 m の画素温度による補正係数の 3 次項 $f(m,3)$	実数	°C ⁻³	

2. 3. 10 CAI2_Brightness_conversion.csv

CAI2_Brightness_conversion.csv は、ラジオメトリック補正における輝度変換係数 R を格納したファイルです。表 2. 3-10 にファイルフォーマットを示します。

形式 : CSV 形式 1 行目はカラムヘッダ
 文字コード : UTF-8
 改行コード : CR+LF

表 2. 3-10 CAI2_Brightness_conversion.csv

No	カラム名	説明	型/範囲	単位	備考
1	BandNumber	バンド番号 m	整数, 1~10	バンド番号	
2	PixelNumber	画素番号 n	整数, バンド 1~4、6~9: 1~2056 バンド 5、10: 1~1024	画素番号	1 オリジン
3	R0	バンド番号 m 、画素番号 n の補正係数の 0 次項 $R(m,n,0)$	実数	$W/m^2/\mu m/str$	
4	R1	バンド番号 m 、画素番号 n の補正係数の 1 次項 $R(m,n,1)$	実数	$(W/m^2/\mu m/str)^{-1}$	
5	R2	バンド番号 m 、画素番号 n の補正係数の 2 次項 $R(m,n,2)$	実数	$(W/m^2/\mu m/str)^{-2}$	
6	R3	バンド番号 m 、画素番号 n の補正係数の 3 次項 $R(m,n,3)$	実数	$(W/m^2/\mu m/str)^{-3}$	

2. 3. 11 CAI2_Sensor_Alignment.csv

CAI2_Sensor_Alignment.csv は、CAI-2 座標系各軸の衛星座標系での成分行列を格納したファイルです。表 2. 3-11 にフォーマットを示します。

形式 : CSV 形式 1 行目はカラムヘッダ
文字コード : UTF-8
改行コード : CR+LF

表 2. 3-11 CAI2_Sensor_Alignment.csv

No	カラム名	説明	型/範囲	単位	備考
1	X	CAI-2 X 軸の衛星座標系での成分	実数, -1.0~1.0	—	
2	Y	CAI-2 Y 軸の衛星座標系での成分	実数, -1.0~1.0	—	
3	Z	CAI-2 Z 軸の衛星座標系での成分	実数, -1.0~1.0	—	

1 行目: 衛星座標系の X

2 行目: 衛星座標系の Y

3 行目: 衛星座標系の Z

2. 3. 12 CAI2_VectorParameter.csv

CAI2_VectorParameter.csv は、CAI-2 座標系での視線ベクトル x, y, z の多項式係数を定義したファイルです。表 2. 3-12 にファイルフォーマットを示します。

形式 : CSV 形式 1 行目はカラムヘッダ
 文字コード : UTF-8
 改行コード : CR+LF

表 2. 3-12 CAI2_VectorParameter.csv

No	カラム名	説明	型/範囲	単位	備考
1	BandNumber	バンド番号 m	整数, 1~10	バンド番号	
2	g0x~g10x	バンド番号 m の視線ベクトル X 軸の j 次係数 $g_{ix}(m)$	実数	—	
3	g0y~g10y	バンド番号 m の視線ベクトル Y 軸の j 次係数 $g_{iy}(m)$	実数	—	
4	g0z~g10z	バンド番号 m の視線ベクトル Z 軸の j 次係数 $g_{iz}(m)$	実数	—	

2. 3. 13 CAI2_Pixel_Parameter.csv

CAI2_Pixel_Parameter.csv は、視線ベクトルを計算する基準画素番号 P_c 、画素ピッチ P_{det} を定義したファイルです。表 2. 3-13 にフォーマットを示します。

形式 : CSV 形式 1 行目はカラムヘッダ
 文字コード : UTF-8
 改行コード : CR+LF

表 2. 3-13 CAI2_Pixel_Parameter.csv

No	カラム名	説明	型/範囲	単位	備考
1	BandNumber	バンド番号 m	整数, 1~10	バンド番号	
2	P_c	バンド番号 m の基準画素番号 $p_c(m)$	整数, バンド 1~4、6~9: 0. ~2056. (実数) バンド 5、10: 0. ~1024. (実数)	画素番号	
3	P_{det}	バンド番号 m の画素ピッチ $p_{det}(m)$	正の実数	mm	

2. 3. 14 CAI2_Band_registration_CT.csv

CAI2_Band_registration_CT.csv は、CT 方向のバンド間レジストレーションのテーブルです。テーブルには、基準バンドの画素番号に対応する各バンドの出力画素番号を定義します。表 2. 3-14 にフォーマットを示します。

バンド番号 1~5 は、前方視バンドの基準バンドの画素に対する値、バンド番号 6~10 は、後方視バンドの基準バンドの画素に対する値が格納されます。

形式 : CSV 形式 1 行目はカラムヘッダ
 文字コード : UTF-8
 改行コード : CR+LF

表 2. 3-14 CAI2_Band_registration_CT.csv

No	カラム名	説明	型/範囲	単位	備考
1	No	基準バンドの画素番号 n	整数, 1~2056	画素番号	1 オリジン
2	Band1	基準バンドの画素番号 n に対応するバンド番号 1 の出力画素番号 $n'(1, n)$	整数(※)	画素番号	1 オリジン
3	Band2	基準バンドの画素番号 n に対応するバンド番号 2 の出力画素番号 $n'(2, n)$	整数(※)	画素番号	1 オリジン
4	Band3	基準バンドの画素番号 n に対応するバンド番号 3 の出力画素番号 $n'(3, n)$	整数(※)	画素番号	1 オリジン
5	Band4	基準バンドの画素番号 n に対応するバンド番号 4 の出力画素番号 $n'(4, n)$	整数(※)	画素番号	1 オリジン
6	Band5	基準バンドの画素番号 n に対応するバンド番号 5 の出力画素番号 $n'(5, n)$	整数(※)	画素番号	1 オリジン
7	Band6	基準バンドの画素番号 n に対応するバンド番号 6 の出力画素番号 $n'(6, n)$	整数(※)	画素番号	1 オリジン
8	Band7	基準バンドの画素番号 n に対応するバンド番号 7 の出力画素番号 $n'(7, n)$	整数(※)	画素番号	1 オリジン
9	Band8	基準バンドの画素番号 n に対応するバンド番号 8 の出力画素番号 $n'(8, n)$	整数(※)	画素番号	1 オリジン
10	Band9	基準バンドの画素番号 n に対応するバンド番号 9 の出力画素番号 $n'(9, n)$	整数(※)	画素番号	1 オリジン
11	Band10	基準バンドの画素番号 n に対応するバンド番号 10 の出力画素番号 $n'(10, n)$	整数(※)	画素番号	1 オリジン

※ 画像両端付近では、各バンドの画素数を超える範囲の値(画像外)が格納される場合がある。

2. 3. 15 CAI2_Band_registration_AT.csv

CAI2_Band_registration_AT.csv は、AT 方向のバンド間レジストレーションを行うテーブルです。テーブルには、基準バンドと各バンドのライン方向のずれ量 $\Delta l_B(i, n)$ を定義します。表 2. 3-15 にフォーマットを示します。

$\Delta l_B(i, n)$ は、以下の定義です。

$$l'_B(i, n, l) = l_{sB}(i, l) + \Delta l_B(i, n)$$

ここで、

$l'_B(i, n, l)$: 基準バンド **B** (画素 n) ライン番号に対応するバンド i のライン番号

$l_{sB}(i, l)$: 基準バンド **B** のライン l と最近接な観測時刻バンド i のライン番号

です。関係を図 1 に示します。

バンド番号 1~5 は、前方視バンドの基準バンドの画素に対する値、バンド番号 6~10 は、後方視バンドの基準バンドの画素に対する値が格納されます。

形式 : CSV形式 1行目はカラムヘッダ
 文字コード : UTF-8
 改行コード : CR+LF

表 2. 3-15 CAI2_Band_registration_AT.csv

No	カラム名	説明	型/範囲	単位	備考
1	No	基準バンドの画素番号 n	整数, 1~2056	画素番号	1 オリジン
2	Band1	基準バンドの画素番号 n における、基準バンドとバンド番号 1 とのラインのずれ $\Delta l(1, n)$	整数	ライン	
3	Band2	基準バンドの画素番号 n における、基準バンドとバンド番号 2 とのラインのずれ $\Delta l(2, n)$	整数	ライン	
4	Band3	基準バンドの画素番号 n における、基準バンドとバンド番号 3 とのラインのずれ $\Delta l(3, n)$	整数	ライン	
5	Band4	基準バンドの画素番号 n における、基準バンドとバンド番号 4 とのラインのずれ $\Delta l(4, n)$	整数	ライン	
6	Band5	基準バンドの画素番号 n における、基準バンドとバンド番号 5 とのラインのずれ $\Delta l(5, n)$	整数	ライン	
7	Band6	基準バンドの画素番号 n における、基準バンドとバンド番号 6 とのラインのずれ $\Delta l(6, n)$	整数	ライン	
8	Band7	基準バンドの画素番号 n における、基準バンドとバンド番号 7 とのラインのずれ $\Delta l(7, n)$	整数	ライン	
9	Band8	基準バンドの画素番号 n における、基準バンドとバンド番号 8 とのラインのずれ $\Delta l(8, n)$	整数	ライン	
10	Band9	基準バンドの画素番号 n における、基準バンドとバンド番号 9 とのラインのずれ $\Delta l(9, n)$	整数	ライン	
11	Band10	基準バンドの画素番号 n における、基準バンドとバンド番号 10 とのラインのずれ $\Delta l(10, n)$	整数	ライン	

※ 先頭#から始まる行はコメント行として扱う

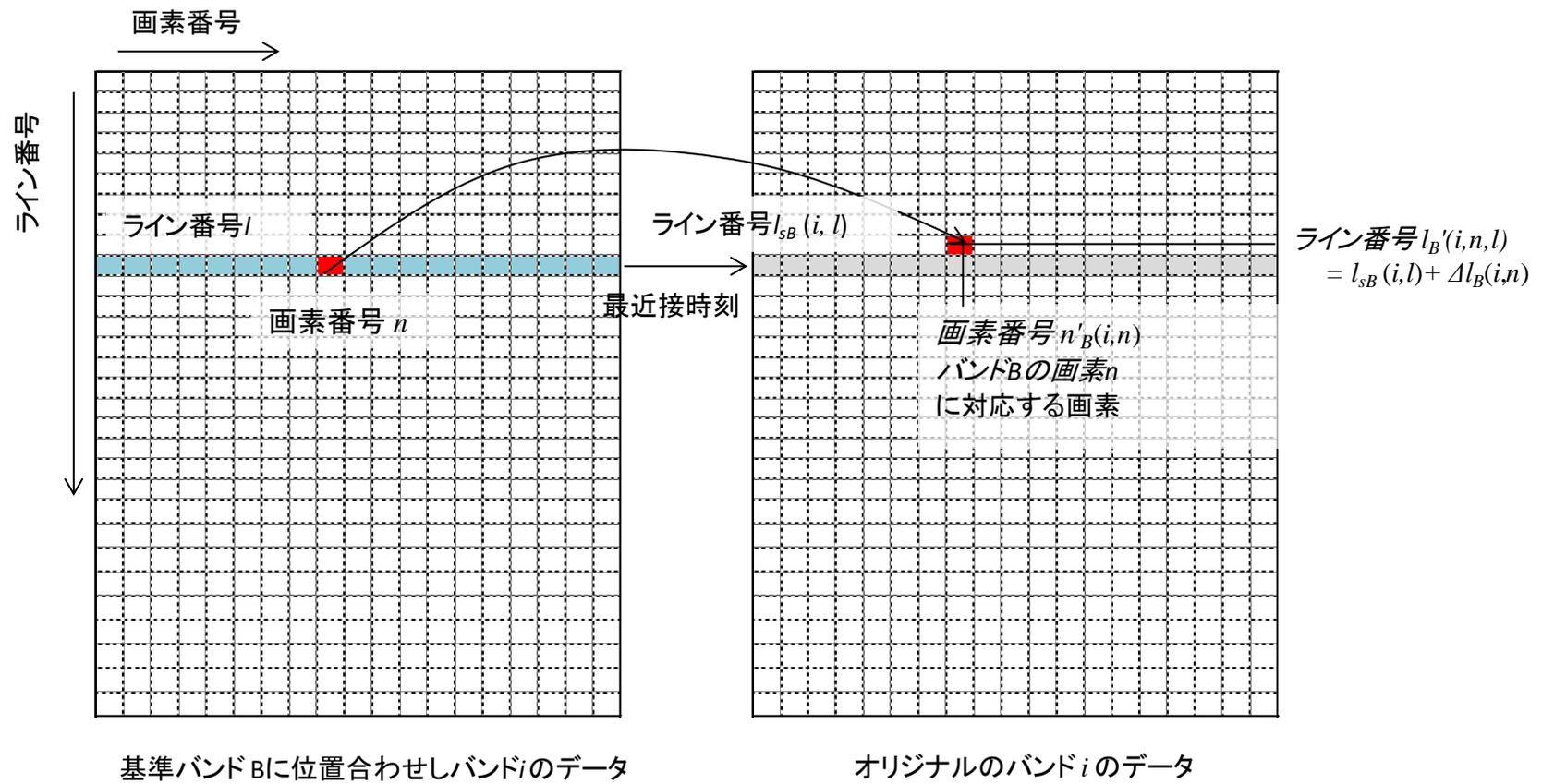


図 1 基準バンド B とバンド i のライン方向のずれ $\Delta l_B(i, n)$ の定義

2. 3. 16 CAI2_Band_registration_CT_B1.csv

CAI2_Band_registration_CT_B1.csv は、基準バンドをバンド1とした場合のCT方向のバンド間レジストレーションを行うテーブルです。テーブルには、バンド1の画素番号に対応する各バンドの出力画素番号を定義します。表 2. 3-16 にフォーマットを示します。

形式 : CSV形式 1行目はカラムヘッダ
 文字コード : UTF-8
 改行コード : CR+LF

表 2. 3-16 CAI2_Band_registration_CT_B1.csv

No	カラム名	説明	型/範囲	単位	備考
1	No	基準バンドの画素番号 n	整数 1~2056	画素番号	1 オリジン
2	Band1	基準バンドの画素番号 n に対応するバンド番号 1 の出力画素番号 $n'(1, n)$	整数(※)	画素番号	1 オリジン
3	Band2	基準バンドの画素番号 n に対応するバンド番号 2 の出力画素番号 $n'(2, n)$	整数(※)	画素番号	1 オリジン
4	Band3	基準バンドの画素番号 n に対応するバンド番号 3 の出力画素番号 $n'(3, n)$	整数(※)	画素番号	1 オリジン
5	Band4	基準バンドの画素番号 n に対応するバンド番号 4 の出力画素番号 $n'(4, n)$	整数(※)	画素番号	1 オリジン
6	Band5	基準バンドの画素番号 n に対応するバンド番号 5 の出力画素番号 $n'(5, n)$	整数	画素番号	1 オリジン
7	Band6	基準バンドの画素番号 n に対応するバンド番号 6 の出力画素番号 $n'(6, n)$	整数	画素番号	全て 0
8	Band7	基準バンドの画素番号 n に対応するバンド番号 7 の出力画素番号 $n'(7, n)$	整数	画素番号	全て 0
9	Band8	基準バンドの画素番号 n に対応するバンド番号 8 の出力画素番号 $n'(8, n)$	整数	画素番号	全て 0
10	Band9	基準バンドの画素番号 n に対応するバンド番号 9 の出力画素番号 $n'(9, n)$	整数	画素番号	全て 0
11	Band10	基準バンドの画素番号 n に対応するバンド番号 10 の出力画素番号 $n'(10, n)$	整数	画素番号	全て 0

※ 画像両端付近では、各バンドの画素数を超える範囲の値(画像外)が格納される場合がある。

2. 3. 17 CAI2_Band_registration_AT_B1.csv

CAI2_Band_registration_AT_B1.csv は、基準バンドをバンド 1 とした場合の AT 方向のバンド間レジストレーションを行うテーブルです。

表 2. 3-17 にフォーマットを示します。

形式 : CSV 形式 1 行目はカラムヘッダ
 文字コード : UTF-8
 改行コード : CR+LF

表 2. 3-17 CAI2_Band_registration_AT_B1.csv

No	カラム名	説明	型/範囲	単位	備考
1	No	基準バンドの画素番号 n	整数, 1~2056	画素番号	1 オリジン
2	Band1	基準バンドの画素番号 n における、基準バンドとバンド番号 1 とのラインのずれ $\Delta l(1, n)$	整数	ライン	全て 0
3	Band2	基準バンドの画素番号 n における、基準バンドとバンド番号 2 とのラインのずれ $\Delta l(2, n)$	整数	ライン	
4	Band3	基準バンドの画素番号 n における、基準バンドとバンド番号 3 とのラインのずれ $\Delta l(3, n)$	整数	ライン	
5	Band4	基準バンドの画素番号 n における、基準バンドとバンド番号 4 とのラインのずれ $\Delta l(4, n)$	整数	ライン	
6	Band5	基準バンドの画素番号 n における、基準バンドとバンド番号 5 とのラインのずれ $\Delta l(5, n)$	整数	ライン	
7	Band6	基準バンドの画素番号 n における、基準バンドとバンド番号 6 とのラインのずれ $\Delta l(6, n)$	整数	ライン	全て 0
8	Band7	基準バンドの画素番号 n における、基準バンドとバンド番号 7 とのラインのずれ $\Delta l(7, n)$	整数	ライン	全て 0
9	Band8	基準バンドの画素番号 n における、基準バンドとバンド番号 8 とのラインのずれ $\Delta l(8, n)$	整数	ライン	全て 0
10	Band9	基準バンドの画素番号 n における、基準バンドとバンド番号 9 とのラインのずれ $\Delta l(9, n)$	整数	ライン	全て 0
11	Band10	基準バンドの画素番号 n における、基準バンドとバンド番号 10 とのラインのずれ $\Delta l(10, n)$	整数	ライン	全て 0

※ 先頭#から始まる行はコメント行として扱う

2. 3. 18 CAI2_Band_registration_CT_B6.csv

CAI2_Band_registration_CT_B6.csv は、基準バンドをバンド6とした場合のCT方向のバンド間レジストレーションを行うテーブルです。テーブルには、バンド6の画素番号に対応する各バンドの出力画素番号を定義します。表 2. 3-18 にフォーマットを示します。

形式 : CSV形式 1行目はカラムヘッダ
 文字コード : UTF-8
 改行コード : CR+LF

表 2. 3-18 CAI2_Band_registration_CT_B6.csv

No	カラム名	説明	型/範囲	単位	備考
1	No	基準バンドの画素番号 n	整数, 1~2056	画素番号	1オリジン
2	Band1	基準バンドの画素番号 n に対応するバンド番号 1 の出力画素番号 $n'(1, n)$	整数	画素番号	全て 0
3	Band2	基準バンドの画素番号 n に対応するバンド番号 2 の出力画素番号 $n'(2, n)$	整数	画素番号	全て 0
4	Band3	基準バンドの画素番号 n に対応するバンド番号 3 の出力画素番号 $n'(3, n)$	整数	画素番号	全て 0
5	Band4	基準バンドの画素番号 n に対応するバンド番号 4 の出力画素番号 $n'(4, n)$	整数	画素番号	全て 0
6	Band5	基準バンドの画素番号 n に対応するバンド番号 5 の出力画素番号 $n'(5, n)$	整数	画素番号	全て 0
7	Band6	基準バンドの画素番号 n に対応するバンド番号 6 の出力画素番号 $n'(6, n)$	整数	画素番号	1オリジン
8	Band7	基準バンドの画素番号 n に対応するバンド番号 7 の出力画素番号 $n'(7, n)$	整数(※)	画素番号	1オリジン
9	Band8	基準バンドの画素番号 n に対応するバンド番号 8 の出力画素番号 $n'(8, n)$	整数(※)	画素番号	1オリジン
10	Band9	基準バンドの画素番号 n に対応するバンド番号 9 の出力画素番号 $n'(9, n)$	整数(※)	画素番号	1オリジン
11	Band10	基準バンドの画素番号 n に対応するバンド番号 10 の出力画素番号 $n'(10, n)$	整数(※)	画素番号	1オリジン

※ 画像両端付近では、各バンドの画素数を超える範囲の値(画像外)が格納される場合がある。

2. 3. 19 CAI2_Band_registration_AT_B6.csv

CAI2_Band_registration_AT_B6.csv は、基準バンドをバンド6とした場合のAT方向のバンド間レジストレーションを行うテーブルです。表 2. 3-19 にフォーマットを示します。

形式 : CSV形式 1行目はカラムヘッダ
 文字コード : UTF-8
 改行コード : CR+LF

表 2. 3-19 CAI2_Band_registration_AT_B6.csv

No	カラム名	説明	型/範囲	単位	備考
1	No	基準バンドの画素番号 n	整数, 1~2056	画素番号	1 オリジン
2	Band1	基準バンドの画素番号 n における、基準バンドとバンド番号 1 とのラインのずれ $\Delta l(1, n)$	整数	ライン	全て 0
3	Band2	基準バンドの画素番号 n における、基準バンドとバンド番号 2 とのラインのずれ $\Delta l(2, n)$	整数	ライン	全て 0
4	Band3	基準バンドの画素番号 n における、基準バンドとバンド番号 3 とのラインのずれ $\Delta l(3, n)$	整数	ライン	全て 0
5	Band4	基準バンドの画素番号 n における、基準バンドとバンド番号 4 とのラインのずれ $\Delta l(4, n)$	整数	ライン	全て 0
6	Band5	基準バンドの画素番号 n における、基準バンドとバンド番号 5 とのラインのずれ $\Delta l(5, n)$	整数	ライン	全て 0
7	Band6	基準バンドの画素番号 n における、基準バンドとバンド番号 6 とのラインのずれ $\Delta l(6, n)$	整数	ライン	全て 0
8	Band7	基準バンドの画素番号 n における、基準バンドとバンド番号 7 とのラインのずれ $\Delta l(7, n)$	整数	ライン	1 オリジン
9	Band8	基準バンドの画素番号 n における、基準バンドとバンド番号 8 とのラインのずれ $\Delta l(8, n)$	整数	ライン	1 オリジン
10	Band9	基準バンドの画素番号 n における、基準バンドとバンド番号 9 とのラインのずれ $\Delta l(9, n)$	整数	ライン	1 オリジン
11	Band10	基準バンドの画素番号 n における、基準バンドとバンド番号 10 とのラインのずれ $\Delta l(10, n)$	整数	ライン	1 オリジン

※ 先頭#から始まる行はコメント行として扱う

2. 3. 20 CAI2_Saturation_correction.csv

CAI2_Saturation_correction.csv は、DN 値の飽和判定閾値を定義するテーブルです。表 2. 3-20 にフォーマットを示します。

形式 : CSV 形式 1 行目はカラムヘッダ
 文字コード : UTF-8
 改行コード : CR+LF

表 2. 3-20 CAI2_Saturation_correction.csv

No	カラム名	説明	型/範囲	単位	備考
1	No	画素番号 n	整数, 1~2056	画素番号	1 オリジン
2	Band1	バンド 1 の画素番号 n における飽和判定閾値	0~4095	(DN 値)	
3	Band2	バンド 2 の画素番号 n における飽和判定閾値	0~4095	(DN 値)	
4	Band3	バンド 3 の画素番号 n における飽和判定閾値	0~4095	(DN 値)	
5	Band4	バンド 4 の画素番号 n における飽和判定閾値	0~4095	(DN 値)	
6	Band5	バンド 5 の画素番号 n における飽和判定閾値	0~4095	(DN 値)	
7	Band6	バンド 6 の画素番号 n における飽和判定閾値	0~4095	(DN 値)	
8	Band7	バンド 7 の画素番号 n における飽和判定閾値	0~4095	(DN 値)	
9	Band8	バンド 8 の画素番号 n における飽和判定閾値	0~4095	(DN 値)	
10	Band9	バンド 9 の画素番号 n における飽和判定閾値	0~4095	(DN 値)	
11	Band10	バンド 10 の画素番号 n における飽和判定閾値	0~4095	(DN 値)	

2. 3. 21 CAI2_Stray_light_correction_B1.txt

CAI2_Stray_light_correction_B1.txt は、バンド 1 の迷光量を補正するためのパラメータを定義したテキストファイルです。

表 2. 3-21 にパラメータを示します。パラメータは、1 行に「キー=値」形式で定義します。

例：

```
saturationCorrection.refBandNo=2
saturationCorrection.refBand.refPixelMargin=0
saturationCorrection.refBand.refLineMargin=0
strayLightCorrection.H_11=B1_H1.tif
:
```

- 形式 : テキスト形式
(1 行に「キー=値」の形式で格納する)
- 文字コード : UTF-8
- 改行コード : CR+LF

表 2. 3-21 CAI2_Stray_light_correction_B1.txt (1/4)

No	キー名	説明	型/範囲	単位	備考
1	saturationCorrection.refBandNo	飽和した画素の元の画素値を予測するため参照するバンドのバンド番号	整数, 2~4	バンド番号	
2	saturationCorrection.refBand.refPixelMargin	飽和した画素を予測するために参照する近傍画素数。Nを指定した場合、最近接の両側 N 画素を参照する。最近接 1 画素のみを参照する場合は、0 を指定する。	整数, ≥ 0	画素番号	

表 2. 3-21 CAI2_Stray_light_correction_B1.txt (2/4)

No	キー名	説明	型/範囲	単位	備考
3	saturationCorrection.refBand.refLineMargin	飽和した画素を予測するために参照する近傍ライン数。Nを指定した場合、前後Nラインを参照する。飽和画素のある1ラインのみを参照する場合は、0を指定する。	整数, ≥ 0	ライン	
4	filtering.startPixelNo	PSFを適用する画素番号。領域外は、画像端処置をした画像として処理する。	整数, 1~2056	画素番号	1 オリジン
5	filtering.endPixelNo	PSFを適用する画素番号。領域外は、画像端処置をした画像として処理する。	整数, 1~2056	画素番号	1 オリジン
6	filtering.Woutside	画像端処理を行う範囲。	整数, ≥ 0	画素番号	
7	strayLightCorrection.H_1	バンド1用迷光補正PSF($H_{1,1}$)のTIFFファイル名	文字列 ファイル名	—	
8	strayLightCorrection.H_1.startPixelNo	$H_{1,1}$ を適用する開始画素番号	整数, 1~2056	画素番号	1 オリジン
9	strayLightCorrection.H_1.endPixelNo	$H_{1,1}$ を適用する終了画素番号	整数, 1~2056	画素番号	1 オリジン
10	strayLightCorrection.H_2	バンド1用迷光PSF($H_{1,2}$)のTIFFファイル名	文字列, ファイル名	—	
11	strayLightCorrection.H_2.startPixelNo	$H_{1,2}$ を適用する開始画素番号	整数, 1~2056	画素番号	1 オリジン
12	strayLightCorrection.H_2.endPixelNo	$H_{1,2}$ を適用する終了画素番号	整数, 1~2056	画素番号	1 オリジン
13	strayLightCorrection.H_3	バンド1用迷光PSF($H_{1,3}$)のTIFFファイル名	文字列, ファイル名	—	
14	strayLightCorrection.H_3.startPixelNo	$H_{1,3}$ を適用する開始画素番号	整数, 1~2056	画素番号	1 オリジン
15	strayLightCorrection.H_3.endPixelNo	$H_{1,3}$ を適用する終了画素番号	整数, 1~2056	画素番号	1 オリジン
16	strayLightCorrection.H_4	バンド1用迷光PSF($H_{1,4}$)のTIFFファイル名	文字列, ファイル名	—	
17	strayLightCorrection.H_4.startPixelNo	$H_{1,4}$ を適用する開始画素番号	整数, 1~2056	画素番号	1 オリジン
18	strayLightCorrection.H_4.endPixelNo	$H_{1,4}$ を適用する終了画素番号	整数, 1~2056	画素番号	1 オリジン

表 2. 3-21 CAI2_Stray_light_correction_B1.txt (3/4)

No	キー名	説明	型/範囲	単位	備考
19	strayLightCorrection.H_5	バンド1用迷光PSF($H_{1,5}$)のTIFFファイル名	文字列, ファイル名	—	
20	strayLightCorrection.H_5.startPixelNo	$H_{1,5}$ を適用する開始画素番号	整数, 1~2056	画素番号	1 オリジン
21	strayLightCorrection.H_5.endPixelNo	$H_{1,5}$ を適用する終了画素番号	整数, 1~2056	画素番号	1 オリジン
22	strayLightCorrection.A	迷光量の減算に起因する信号強度の減少を補正するバンド1の係数 A_1 のファイル名	文字列, ファイル名	—	
23	outbandCorrection.refBand	帯域外補正の実施対象バンドをカンマ区切りで指定する。 例: outbandCorrection.refBand=2, 3, 4 帯域外補正を行わない場合は、右辺には値を指定しない。 outbandCorrection.refBand=	整数, 2~4、または無し	バンド番号	空白は無視する
24	outbandCorrection.H2	バンド1用帯域外迷光PSF($H_{1,2}$)のTIFFファイル名。帯域外補正を行わない場合、右辺には値を指定しない。	文字列 ファイル名	—	
25	outbandCorrection.H3	バンド1用帯域外迷光PSF($H_{1,3}$)のTIFFファイル名。帯域外補正を行わない場合、右辺には値を指定しない。	文字列 ファイル名	—	
26	outbandCorrection.H4	バンド1用帯域外迷光PSF($H_{1,4}$)のTIFFファイル名。帯域外補正を行わない場合、右辺には値を指定しない。	文字列 ファイル名	—	

表 2. 3-21 CAI2_Stray_light_correction_B1.txt 4/4)

No	キー名	説明	型/範囲	単位	備考
27	crossTalkCorrection.H	バンド 1 用バンド間クロストーク PSF (H ₀) の TIFF ファイル名	文字列, ファイル名	—	

※ 先頭#から始まる行はコメント行として扱う

2. 3. 22 CAI2_Stray_light_correction_B6.txt

CAI2_Stray_light_correction_B6.txt は、バンド 6 の迷光量を補正するためのパラメータを定義したテキストファイルです。

表 2. 3-22 にパラメータを示します。ファイルの書式は、2. 3. 21 と同じです。パラメータは、1 行に「キー=値」形式で定義します。

形式 : テキスト形式
(1 行に「キー=値」の形式で格納する)
文字コード : UTF-8
改行コード : CR+LF

表 2. 3-22 CAI2_Stray_light_correction_B6.txt (1/4)

No	キー名	説明	型/範囲	単位	備考
1	saturationCorrection.refBandNo	飽和した画素の元の画素値を予測するため参照するバンドのバンド番号	整数, 7~9	バンド番号	
2	saturationCorrection.refBand.refPixelMargin	飽和した画素を予測するために参照する画素数。最近接 1 画素のみを参照する場合は、0 を指定する。最近接の両側 N 画素を参照する場合、N を指定する。	整数, ≥ 0	画素番号	

表 2. 3-22 CAI2_Stray_light_correction_B6.txt (2/4)

No	キー名	説明	型/範囲	単位	備考
3	saturationCorrection.refBand.refLineMargin	飽和した画素を予測するために参照するライン数。1 ラインのみを参照する場合は、0 を指定する。前後 N ラインを参照する場合、N を指定する。	整数, ≥ 0	ライン	
4	filtering.startPixelNo	PSF を適用する画素番号。領域外は、画像端処置をした画像として処理する。	整数, 1~2056	画素番号	1 オリジン
5	filtering.endPixelNo	PSF を適用する画素番号。領域外は、画像端処置をした画像として処理する。	整数, 1~2056	画素番号	1 オリジン
6	filtering.Woutside	画像端処理を行う範囲。	整数, ≥ 0	—	
7	strayLightCorrection.H_1	バンド 6 用迷光補正 PSF ($H_{6,1}$) の TIFF ファイル名	文字列, ファイル名	—	
8	strayLightCorrection.H_1.startPixelNo	$H_{6,1}$ を適用する開始画素番号	整数, 1~2056	画素番号	1 オリジン
9	strayLightCorrection.H_1.endPixelNo	$H_{6,1}$ を適用する終了画素番号	整数, 1~2056	画素番号	1 オリジン
10	strayLightCorrection.H_2	バンド 6 用迷光 PSF ($H_{6,2}$) の TIFF ファイル名	文字列, ファイル名	—	
11	strayLightCorrection.H_2.startPixelNo	$H_{6,2}$ を適用する開始画素番号	整数, 1~2056	画素番号	1 オリジン
12	strayLightCorrection.H_2.endPixelNo	$H_{6,2}$ を適用する終了画素番号	整数, 1~2056	画素番号	1 オリジン
13	strayLightCorrection.H_3	バンド 6 用迷光 PSF ($H_{6,3}$) の TIFF ファイル名	文字列, ファイル名	—	
14	strayLightCorrection.H_3.startPixelNo	$H_{6,3}$ を適用する開始画素番号	整数, 1~2056	画素番号	1 オリジン
15	strayLightCorrection.H_3.endPixelNo	$H_{6,3}$ を適用する終了画素番号	整数, 1~2056	画素番号	1 オリジン
16	strayLightCorrection.H_4	バンド 6 用迷光 PSF ($H_{6,4}$) の TIFF ファイル名	文字列, ファイル名	—	
17	strayLightCorrection.H_4.startPixelNo	$H_{6,4}$ を適用する開始画素番号	整数, 1~2056	画素番号	1 オリジン
18	strayLightCorrection.H_4.endPixelNo	$H_{6,4}$ を適用する終了画素番号	整数, 1~2056	画素番号	1 オリジン

表 2. 3-22 CAI2_Stray_light_correction_B6.txt (3/4)

No	キー名	説明	型/範囲	単位	備考
19	strayLightCorrection.H_5	バンド 6 用迷光補正 PSF (H _{6,5}) の TIFF ファイル名	文字列 ファイル名	—	
20	strayLightCorrection.H_5.startPixelNo	H _{6,5} を適用する開始画素番号	整数, 1~2056	画素番号	1 オリジン
21	strayLightCorrection.H_5.endPixelNo	H _{6,5} を適用する終了画素番号	整数, 1~2056	画素番号	1 オリジン
22	strayLightCorrection.A	バンド 6 の迷光量の減算に起因する信号強度の減少を補正する係数 A6 のファイル名	文字列, ファイル名		
23	outbandCorrection.refBand	帯域外補正の実施対象バンドをカンマ区切りで指定する。 例: outbandCorrection.refBand=7, 8, 9 帯域外補正を行わない場合は、右辺には値を指定しない。 outbandCorrection.refBand=	整数, 7~9、または無し	バンド番号	空白は無視する
24	outbandCorrection.H7	バンド 6 用帯域外迷光 PSF (H _{6,7}) の TIFF ファイル名。帯域外補正を行わない場合、右辺には値を指定しない。	文字列, ファイル名	—	
25	outbandCorrection.H8	バンド 6 用帯域外迷光 PSF (H _{6,8}) の TIFF ファイル名。帯域外補正を行わない場合、右辺には値を指定しない。	文字列, ファイル名	—	
26	outbandCorrection.H9	バンド 6 用帯域外迷光 PSF (H _{6,9}) の TIFF ファイル名。帯域外補正を行わない場合、右辺には値を指定しない。	文字列, ファイル名	—	

表 2. 3-22 CAI2_Stray_light_correction_B6.txt (4/4)

No	キー名	説明	型/範囲	単位	備考
27	crossTalkCorrection.H	バンド 6 用バンド間クロストーク PSF (H ₁) の TIFF ファイル名	文字列, ファイル名	—	

※ 先頭#から始まる行はコメント行として扱う

2. 3. 23 CAI2_Stray_light_correction_A_B1.csv

CAI2_Stray_light_correction_A_B1.csv は、バンド1の迷光量の減算に起因する信号強度の減少を補正する係数 $A_1(n)$ を定義したテキストファイルです。表 2. 3-23 にフォーマットを示します。

形式 : CSV形式 1行目はカラムヘッダ
 文字コード : UTF-8
 改行コード : CR+LF

表 2. 3-23 CAI2_Stray_light_correction_A_B1.csv

No	カラム名	説明	型/範囲	単位	備考
1	No	画素番号 n	整数, 1~2056	画素番号	1オリジン
2	A(n)	画素番号 n に対応する $A_1(n)$	実数	—	

※ 先頭#から始まる行はコメント行として扱う

2. 3. 24 CAI2_Stray_light_correction_A_B6.csv

CAI2_Stray_light_correction_A_B6.csv は、バンド6の迷光量の減算に起因する信号強度の減少を補正する係数 $A_6(n)$ を定義したテキストファイルです。表 2. 3-24 にフォーマットを示します。

形式 : CSV 形式 1行目はカラムヘッダ
 文字コード : UTF-8
 改行コード : CR+LF

表 2. 3-24 CAI2_Stray_light_correction_A_B6.csv

No	カラム名	説明	型/範囲	単位	備考
1	No	画素番号 n	整数, 1~2056	画素番号	1 オリジン
2	A(n)	画素番号 n に対応する $A_6(n)$	実数	—	

※ 先頭#から始まる行はコメント行として扱う

2. 3. 25 CAI2_Ch_crosstalk_correction_B5.csv

CAI2_Ch_crosstalk_correction_B5.csv は、バンド 5 の CH 間クロストークの補正係数を格納したファイルです。
CSV 形式で、

表 2. 3-25 の形式で格納します。a, b, c, d, e の値は、全て実数です。ファイルの例を次ページに示します。

形式	:	CSV 形式 1,10 行目はカラムヘッダ
文字コード	:	UTF-8
改行コード	:	CR+LF

表 2. 3-25 CAI2_Ch_crosstalk_correction_B5.csv

“CH1” (カラムヘッダ)	“CH3” (カラムヘッダ)	“CH5” (カラムヘッダ)	“CH7” (カラムヘッダ)
a11 (※)	a13	a15	a17
a31	a33(※)	a35	a37
a51	a53	a55(※)	a57
a71	a73	a75	a77(※)
c11 (※)	c13	c15	c17
c31	c33(※)	c35	c37
c51	c53	c55(※)	c57
c71	c73	c75	c77(※)
d11 (※)	d13	d15	d17
d31	d33(※)	d35	d37
d51	d53	d55(※)	d57
d71	d73	d75	d77(※)
e11 (※)	e13	e15	e17
e31	e33(※)	e35	e37
e51	e53	e55(※)	e57
e71	e73	e75	e77(※)
b11 (※)	b13	b15	b17
b31	b33 (※)	b35	b37
b51	b53	b55(※)	b57
b71	b73	b75	b77(※)
“CH2” (カラムヘッダ)	“CH4” (カラムヘッダ)	“CH6” (カラムヘッダ)	“CH8” (カラムヘッダ)
a22 (※)	a24	a26	a28
a42	a44 (※)	a46	a48
a62	a64	a66(※)	a68
a81	a84	a86	a88(※)
c22 (※)	c24	c26	c28
c42	c44 (※)	c46	c48
c62	c64	c66(※)	c68
c81	c84	c86	c88(※)
d22 (※)	d24	d26	d28
d42	d44 (※)	d46	d48
d62	d64	d66(※)	d68
d81	d84	d86	d88(※)
e22 (※)	e24	e26	e28
e42	e44 (※)	e46	e48
e62	e64	e66(※)	e68
e81	e84	e86	e88(※)
b22 (※)	b24	b26	b28
b42	b44(※)	b46	b48
b62	b64	b66(※)	b68
b81	b84	b86	b88(※)

カラムヘッダは、“ ”内の文字列。※は、0.0を格納する。先頭#から始まる行はコメント行として扱う

例：

CH1,	CH3,	CH5,	CH7
0.0,	1.0,	1.0,	1.0
3.0,	0.0,	3.0,	3.0
5.0,	5.0,	0.0,	5.0
7.0,	7.0,	7.0,	0.0
0.0,	1.0,	1.0,	1.0
3.0,	0.0,	3.0,	3.0
5.0,	5.0,	0.0,	5.0
7.0,	7.0,	7.0,	0.0
0.0,	1.0,	1.0,	1.0
3.0,	0.0,	3.0,	3.0
5.0,	5.0,	0.0,	5.0
7.0,	7.0,	7.0,	0.0
0.0,	1.0,	1.0,	1.0
3.0,	0.0,	3.0,	3.0
5.0,	5.0,	0.0,	5.0
7.0,	7.0,	7.0,	0.0
0.0,	1.0,	1.0,	1.0
3.0,	0.0,	3.0,	3.0
5.0,	5.0,	0.0,	5.0
7.0,	7.0,	7.0,	0.0
CH2,	CH4,	CH6,	CH8
0.0,	2.0,	2.0,	2.0
4.0,	0.0,	4.0,	4.0
6.0,	6.0,	0.0,	6.0
8.0,	8.0,	8.0,	0.0
0.0,	2.0,	2.0,	2.0
4.0,	0.0,	4.0,	4.0
6.0,	6.0,	0.0,	6.0
8.0,	8.0,	8.0,	0.0
0.0,	2.0,	2.0,	2.0
4.0,	0.0,	4.0,	4.0
6.0,	6.0,	0.0,	6.0
8.0,	8.0,	8.0,	0.0
0.0,	2.0,	2.0,	2.0
4.0,	0.0,	4.0,	4.0
6.0,	6.0,	0.0,	6.0
8.0,	8.0,	8.0,	0.0

2. 3. 26 CAI2_Ch_crosstalk_correction_B10.csv

CAI2_Ch_crosstalk_correction_B10.csv は、バンド 10 の CH 間クロストークの補正係数を格納したファイルです。ファイルフォーマットは、2. 3. 25 と同じです。CSV 形式で、表 2. 3-26 の形式で格納します。a, b, c, d, e の値は、全て実数です。

形式	:	CSV 形式 1 行目,10 行目はカラム ヘッダ
文字コード	:	UTF-8
改行コード	:	CR+LF

表 2. 3-26 CAI2_Ch_crosstalk_correction_B10.csv

“CH1” (カラムヘッダ)	“CH3” (カラムヘッダ)	“CH5” (カラムヘッダ)	“CH7” (カラムヘッダ)
a11 (※)	a13	a15	a17
a31	a33(※)	a35	a37
a51	a53	a55(※)	a57
a71	a73	a75	a77(※)
c11 (※)	c13	c15	c17
c31	c33(※)	c35	c37
c51	c53	c55(※)	c57
c71	c73	c75	c77(※)
d11 (※)	d13	d15	d17
d31	d33(※)	d35	d37
d51	d53	d55(※)	d57
d71	d73	d75	d77(※)
e11 (※)	e13	e15	e17
e31	e33(※)	e35	e37
e51	e53	e55(※)	e57
e71	e73	e75	e77(※)
b11 (※)	b13	b15	b17
b31	b33 (※)	b35	b37
b51	b53	b55(※)	b57
b71	b73	b75	b77(※)
“CH2” (カラムヘッダ)	“CH4” (カラムヘッダ)	“CH6” (カラムヘッダ)	“CH8” (カラムヘッダ)
a22 (※)	a24	a26	a28
a42	a44 (※)	a46	a48
a62	a64	a66(※)	a68
a81	a84	a86	a88(※)
c22 (※)	c24	c26	c28
c42	c44 (※)	c46	c48
c62	c64	c66(※)	c68
c81	c84	c86	c88(※)
d22 (※)	d24	d26	d28
d42	d44 (※)	d46	d48
d62	d64	d66(※)	d68
d81	d84	d86	d88(※)
e22 (※)	e24	e26	e28
e42	e44 (※)	e46	e48
e62	e64	e66(※)	e68
e81	e84	e86	e88(※)
b22 (※)	b24	b26	b28
b42	b44(※)	b46	b48
b62	b64	b66(※)	b68
b81	b84	b86	b88(※)

カラムヘッダは、“ ”内の文字列。※は、0.0を格納する。先頭#から始まる行はコメント行として扱う

2. 3. 27 CAI2_Stray_light_correction_B5.txt

CAI2_Stray_light_correction_B5.txt は、バンド5の迷光量を補正するためのパラメータを定義したテキストファイルです。パラメータを表 2. 3-27 に示します。パラメータは、1行に「キー=値」形式で定義します。

例:

```
filtering.startPixelNo=66
filtering.endPixelNo=1024
:
```

- 形式 : テキスト形式
(1行に「キー=値」の形式で格納する)
- 文字コード : UTF-8
- 改行コード : CR+LF

表 2. 3-27 CAI2_Stray_light_correction_B5.txt (1/2)

No	キー名	説明	型/範囲	単位	備考
1	filtering.startPixelNo	PSF を適用する画素番号。領域外は、画像端処理をした画像として処理する。	整数, 1~1024	画素番号	1 オリジン
2	filtering.endPixelNo	PSF を適用する画素番号。領域外は、画像端処理をした画像として処理する。	整数, 1~1024	画素番号	1 オリジン
3	filtering.Woutside	画像端処理を行う範囲。	整数, ≥ 0	—	
4	strayLightCorrection.H_1	バンド5用迷光補正 PSF (H ₅₁) の TIFF ファイル名	文字列, ファイル名	—	

表 2. 3-27 CAI2_Stray_light_correction_B5.txt (2/2)

No	キー名	説明	型/範囲	単位	備考
5	strayLightCorrection.H_1.startPixelNo	H _{5,1} を適用する開始画素番号	整数, 1~1024	画素番号	1 オリジン
6	strayLightCorrection.H_1.endPixelNo	H _{5,1} を適用する終了画素番号	整数, 1~1024	画素番号	1 オリジン
7	strayLightCorrection.H_2	バンド 5 用迷光補正 PSF (H ₅₂) の TIFF ファイル名	文字列, ファイル名	—	
8	strayLightCorrection.H_2.startPixelNo	H _{5,2} を適用する開始画素番号	整数, 1~1024	画素番号	1 オリジン
9	strayLightCorrection.H_2.endPixelNo	H _{5,2} を適用する終了画素番号	整数, 1~1024	画素番号	1 オリジン
10	strayLightCorrection.H_3	バンド 5 用迷光補正 PSF (H ₅₃) の TIFF ファイル名	文字列, ファイル名	—	
11	strayLightCorrection.H_3.startPixelNo	H _{5,3} を適用する開始画素番号	整数, 1~1024	画素番号	1 オリジン
12	strayLightCorrection.H_3.endPixelNo	H _{5,3} を適用する終了画素番号	整数, 1~1024	画素番号	1 オリジン
13	strayLightCorrection.H_4	バンド 5 用迷光補正 PSF (H ₅₄) の TIFF ファイル名	文字列, ファイル名	—	
14	strayLightCorrection.H_4.startPixelNo	H _{5,4} を適用する開始画素番号	整数, 1~1024	画素番号	1 オリジン
15	strayLightCorrection.H_4.endPixelNo	H _{5,4} を適用する終了画素番号	整数, 1~1024	画素番号	1 オリジン
16	strayLightCorrection.H_5	バンド 5 用迷光補正 PSF (H ₅₅) の TIFF ファイル名	文字列, ファイル名	—	
17	strayLightCorrection.H_5.startPixelNo	H _{5,5} を適用する開始画素番号	整数, 1~1024	画素番号	1 オリジン
18	strayLightCorrection.H_5.endPixelNo	H _{5,5} を適用する終了画素番号	整数, 1~1024	画素番号	1 オリジン
19	strayLightCorrection.A	バンド5の迷光量の減算に起因する信号強度の減少を補正する係数 A5 のファイル名	文字列, ファイル名	—	

※ 先頭#から始まる行はコメント行として扱う

2. 3. 28 CAI2_Stray_light_correction_B10.txt

CAI2_Stray_light_correction_B10.txtは、バンド10の迷光量を補正するためのパラメータを定義したテキストファイルです。パラメータを表2. 3-28に示します。ファイルの書式は、2. 3. 27と同じです。パラメータは、1行に「キー=値」形式で定義します。

形式 : テキスト形式
(1行に「キー=値」の形式で格納する)
文字コード : UTF-8
改行コード : CR+LF

表 2. 3-28 CAI2_Stray_light_correction_B10.txt (1/2)

No	キー名	説明	型/範囲	単位	備考
1	filtering.startPixelNo	PSFを適用する画素番号。領域外は、ミラーリングした画像として処理する。	整数, 1~1024	画素番号	1 オリジン
2	filtering.endPixelNo	PSFを適用する画素番号。領域外は、ミラーリングした画像として処理する。	整数, 1~1024	画素番号	1 オリジン
3	filtering.Woutside	画像端処理を行う範囲。	整数, ≥ 0	画素番号	
4	strayLightCorrection.H_1	バンド10用迷光補正PSF(H ₁₀₁)のTIFFファイル名	文字列, ファイル名	—	
5	strayLightCorrection.H_1.startPixelNo	H _{10,1} を適用する開始画素番号	整数, 1~1024	画素番号	1 オリジン
6	strayLightCorrection.H_1.endPixelNo	H _{10,1} を適用する終了画素番号	整数, 1~1024	画素番号	1 オリジン
7	strayLightCorrection.H_2	バンド10用迷光補正PSF(H ₁₀₂)のTIFFファイル名	文字列, ファイル名	—	
8	strayLightCorrection.H_2.startPixelNo	H _{10,2} を適用する開始画素番号	整数, 1~1024	画素番号	1 オリジン
9	strayLightCorrection.H_2.endPixelNo	H _{10,2} を適用する終了画素番号	整数, 1~1024	画素番号	1 オリジン
10	strayLightCorrection.H_3	バンド10用迷光補正PSF(H ₁₀₃)のTIFFファイル名	文字列, ファイル名	—	

表 2. 3-28 CAI2_Stray_light_correction_B10.txt (2/2)

No	キー名	説明	型/範囲	単位	備考
11	strayLightCorrection.H_3.startPixelNo	H _{10,3} を適用する開始画素番号	整数, 1~1024	画素番号	1 オリジン
12	strayLightCorrection.H_3.endPixelNo	H _{10,3} を適用する終了画素番号	整数, 1~1024	画素番号	1 オリジン
13	strayLightCorrection.H_4	バンド 10 用迷光補正 PSF (H ₁₀₄) の TIFF ファイル名	文字列, ファイル名	—	
14	strayLightCorrection.H_4.startPixelNo	H _{10,4} を適用する開始画素番号	整数, 1~1024	画素番号	1 オリジン
15	strayLightCorrection.H_4.endPixelNo	H _{10,4} を適用する終了画素番号	整数, 1~1024	画素番号	1 オリジン
16	strayLightCorrection.H_5	バンド 10 用迷光補正 PSF (H ₁₀₅) の TIFF ファイル名	文字列, ファイル名	—	
17	strayLightCorrection.H_5.startPixelNo	H _{10,5} を適用する開始画素番号	整数, 1~1024	画素番号	1 オリジン
18	strayLightCorrection.H_5.endPixelNo	H _{10,5} を適用する終了画素番号	整数, 1~1024	画素番号	1 オリジン
19	strayLightCorrection.A	バンド 10 の迷光量の減算に起因する信号強度の減少を補正する係数 A10 のファイル名	文字列, ファイル名	—	

※ 先頭#から始まる行はコメント行として扱う

2. 3. 29 CAI2_Stray_light_correction_A_B5.csv

CAI2_Stray_light_correction_A_B5.csv は、バンド5の迷光量の減算に起因する信号強度の減少を補正する係数 $A_5(n)$ を定義したテキストファイルです。表 2. 3-29 にフォーマットを示します。

形式 : CSV 形式 1行目はカラムヘッダ
 文字コード : UTF-8
 改行コード : CR+LF

表 2. 3-29 CAI2_Stray_light_correction_A_B5.csv

No	カラム名	説明	型/範囲	単位	備考
1	No	画素番号 n	整数, 1~1024	画素番号	1 オリジン
2	A(n)	画素番号 n に対応する $A_5(n)$	実数	—	

※ 先頭#から始まる行はコメント行として扱う

2. 3. 30 CAI2_Stray_light_correction_A_B10.csv

CAI2_Stray_light_correction_A_B10.csv は、バンド 10 の迷光量の減算に起因する信号強度の減少を補正する係数 $A_{10}(n)$ を定義したテキストファイルです。表 2. 3-30 にフォーマットを示します。

形式 : CSV 形式 1 行目はカラムヘッダ
 文字コード : UTF-8
 改行コード : CR+LF

表 2. 3-30 CAI2_Stray_light_correction_A_B10.csv

No	カラム名	説明	型/範囲	単位	備考
1	No	画素番号 n	整数, 1~1024	画素番号	1 オリジン
2	A(n)	画素番号 n に対応する $A_{10}(n)$	実数	—	

※ 先頭#から始まる行はコメント行として扱う

2. 3. 31 CAI2_ImageProcessSetting.txt

CAI2_ImageProcessSetting.txt は、迷光量を補正するための画像処理の On/Off を定義したテキストファイルです。パラメータを表 2. 3-31 に示します。パラメータは、1 行に「キー=値」形式で定義します。

例：

```
B1.saturationCorrection=0n
B1.strayLightCorrection=0n
B1.outbandStrayLightCorrection=0n
B1.B1B6crossTalkCorrectoion=0n
:
```

形式 : テキスト形式
(1 行に「キー=値」の形式で格納する)
文字コード : UTF-8
改行コード : CR+LF

表 2. 3-31 CAI2_ImageProcessSetting.txt (1/2)

No	キー名	説明	型/範囲	単位	備考
1	B1.saturationCorrection	バンド 1 飽和画素補正の実施 On/Off を指定する。	文字列 “0n” または” Off”	—	
2	B1.strayLightCorrection	バンド 1 帯域内迷光補正の実施 On/Off を指定する。	文字列 “0n” または” Off”	—	
3	B1.outbandStrayLightCorrection	バンド 1 帯域外迷光補正の実施 On/Off を指定する。	文字列 “0n” または” Off”		
4	B1.B1B6crossTalkCorrectoion	バンド 1 バンド 1, 6 間クロストーク補正の実施 On/Off を指定する。	文字列 “0n” または” Off”	—	

表 2. 3-31 CAI2_ImageProcessSetting.txt (2/2)

No	キー名	説明	入力範囲	単位	備考
5	B6. saturationCorrection	バンド6 飽和画素補正の実施 On/Offを指定する。	文字列 “On” または” Off”	—	
6	B6. strayLightCorrection	バンド 6 帯域内迷光補正の実施 On/Offを指定する。	文字列 “On” または” Off”	—	
7	B6. outbandStrayLightCorrection	バンド 6 帯域外迷光補正の実施 On/Offを指定する。	文字列 “On” または” Off”	—	
8	B6. B1B6crossTalkCorrectoion	バンド6 バンド 1,6 間クロストーク補正の実施 On/Offを指定する。	文字列 “On” または” Off”	—	
9	B5. chCrossTalkCorrection	バンド 5 CH 間クロストークの実施 On/Offを指定する。	文字列 “On” または” Off”	—	
10	B5. strayLightCorrection	バンド 5 帯域内迷光補正の実施 On/Offを指定する。	文字列 “On” または” Off”	—	
11	B10. chCrossTalkCorrection	バンド 10 CH 間クロストークの実施 On/Offを指定する。	文字列 “On” または” Off”	—	
12	B10. strayLightCorrection	バンド 10 帯域内迷光補正の実施 On/Offを指定する。	文字列 “On” または” Off”	—	

※ 先頭#から始まる行はコメント行として扱う

2. 3. 32 PSF ファイル(.tif)

PSF ファイルは、以下 TIFF 形式のファイルです。

形式	:	TIFF
画素データ		浮動小数点形式 32bit

(白紙)